

朝日新聞
3/28 朝刊

「障害者手帳なくても 聞こえない人がいる」

難聴者協会

「全響の作曲家」として活動していた佐村河内守さんが「法律上の聴覚障害に該当しない」として障害者手帳を返納した問題で、NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会が27日、都庁で会見し、「障害者手帳を持つていない人も聞こえない人がいる」と訴えた。

同協会によると、現行の障害者手帳の制度では、1日離れた所で普通の会話音

が聞き取れない程度だと手帳は取得できない。国内に数百万人いるといわれる聴覚障害者のうち、手帳の保持者は35万人にとどまる。約700人の会員がいる同協会でも1000人余りが手

帳を持っていないという。

佐村河内さんが謝罪会見をした今月7日以降、「障害者手帳を持っていないければ聞こえるのではないか」という誤解が広がっている。同協会は「軽度や中程度の難聴でも、言葉の聞き分けが難しい方が多くいる」と説明している。

新谷友良理事長(65)は、「聞こえの障害は外から見えず、社会の理解がとて遅れている」と訴えた。